

ばんけい

教育ほつとにゅーす
かわら版こ みち
教育の小径No.81
7月号
2015 July

今月のことば

うお ころ みず ころ
魚心あれば水心

相手が好意をもって接してくれば、こちらの方もそれに応えようとするというたとえです。先方の態度で自分の行動を決めることをいいます。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

授業検討会のもち方

- 研究授業後の検討会をより充実させるためには、観察者一人一人が目的意識をもって、できるだけ克明な授業記録をとることが大切です。
- 検討会では、記録した「授業の事実」にもとづいて協議します。終了後には「成果と課題」を確認します。

今月の記念日

ふみの日(7月23日)

手紙を書くことを普及・啓発するために、昭和54年(1979年)に郵政省(現在の総務省)が制定しました。「ふみ」とは手紙のことで、「2(ふ)3(み)」は語呂合わせです。

視点をもって授業観察を

多くの学校では、研究授業を実施した後に、授業についての研究・協議を行う場を設けています。実施された授業を最大限活用し、授業検討会を実りあるものとするためには、どのような工夫が必要なのでしょう。

授業者は、研究主題や研究の視点などを踏まえて授業を計画し、実施します。一方、参観者は「観察の視点」をもって、意図的に観察します。ただ漫然と見ているだけでは、授業の実態を深くとらえることはできません。

「観察の視点」は、研究主題や当日の研究会の趣旨にもとづいて2~3点程度設定し、研究推進委員会などから事前に示しておきます。これらは授業検討会での「協議の柱」になります。

例えば、「子どもたちはどのように思考を深めていったか」「教師による資料提示のタイミングはよかったか」「教師は子ども一人一人の考えをどのように引き出していたか」など、できるだけ具体的に示します。授業の様態を記録する「観察カード」を事前に配付しておくといでしょう。

何より重要なことは、一人一人の教師が目的意識をもって授業を観察・記録し、その結果をその後の検討会に生か

すことです。ここでは、研究の推進役のリーダーシップとともに、校内の推進体制が問われることとなります。

授業の事実をもとに発言したい

授業検討会の場で特に大切にしたいことは、教師の発問や指示、子どもの発言や活動など「授業の事実」にもとづいて協議することです。「子どもは生き生きと活動していた」「授業の準備がよくできていて、授業が楽しかった」などのように、印象のみを述べることは慎みたいものです。これらの言葉にはほとんど説得力がないからです。

授業の事実を大切にするためには、できるだけ綿密な授業記録をとる必要があります。多くの授業は教師と子どもたちの言語活動によって展開されていますから、授業記録は主に教師の言葉かけと子どもたちの発言から構成されます。言葉のやり取りとともに、板書事項や活動の状況などもできるだけ克明に記録するようにします。校内で一人の記録者を決めることもありますが、基本はすべての教師が記録をとります。記録することによって、授業をより深く理解することができるようになるからです。

全員での検討会のまえに「観察の視点」にもとづいて「授業のよかったところ」と「問題点や改善点」を色の違った

カードに記録するなど、小グループで事前に整理する方法もあります。

検討会ではそれぞれが記録した内容をもとに協議を深めます。ここでは、観察者の一人一人に授業の観察力と記録力と分析力が問われます。検討会で授業の成果を述べるときには、なぜそうなのかを子どもの具体的な発言の内容や活動の様子を紹介しながら説明します。また問題点や課題を指摘するときには、代案を示すことが大切です。

検討会で発言された内容をその場で板書すると、教師間で共通理解を深めることができます。論点が明確になり、成果と課題を可視化することができるからです。検討会のあとに、板書事項を写真にとり、記録として残すこともできます。

検討会の終了後には、当日の授業と協議の「成果と課題」を整理します。ともすると検討のやりっぱなしで終わってしまうこともありますが、研究推進委員会などが次の授業検討会につながるように、当日の授業研究の成果はどのようなことか、次に解決すべきことは何かを記録に留めておきます。このことは研究の継続性と発展性のためにとても重要なことです。



夏休みの計画づくり

夏休みに入ります。子どもの主要な生活の場が学校から家庭に移ります。このことは、これまでの生活リズムが変わり、それぞれの家庭で新しい生活が始まることを意味しています。

夏休みを迎えるに当たって、各家庭では、夏休みの過ごし方について話し合います。このことは夏休み中の計画を立てることです。計画には、夏休み全体を通したものと、1日の過ごし方の2つがあります。

全体の計画表には、登校日、プール、臨海・林間などの宿泊行事、地域での活動や祭り、家族での旅行などを書き入れます。自由研究など学習課題についても、いつまでに何を仕上げるのかおよその日程を立てておきます。

次に、1日の過ごし方について計画を立てます。日課表づくりです。起床時間、ラジオ体操、朝食の時間から、就寝時間などを書き入れます。宿題などは午前中の涼いうちに済ませるようにします。読書や家のお手伝いの時間も計画しておきます。

計画を立てることで、先が見えてきます。見通しが立つとそれを実現しようとする意欲も高まってきます。計画を立てることは目的意識をもって、生き生きと楽しく、そして充実した夏休みを過ごすために大切なことです。

ただ、無理な計画を立てることは負担になり、かえって意欲を喪失することにもつながります。充実感を味わいながら過ごしていくためには、無理や無駄のない、実現可能な計画を立てることが何より大切です。

どうしても実現できなくなったときや予定を変更したいときには、途中で計画を修正することもあります。

教員に求められる資質能力

中央教育審議会の教員養成部会は、これからの学校教育を担う教員は、知識基盤社会、国際化、人口減少社会といった社会の変化に対応して、新しい時代にふさわしい資質能力を備える必要があると指摘し、教員の養成・採用・研修に一貫性をもたせた改革が必要だと提言しました。

これからの学校教育では、知識基盤社会の到来に対して、自ら課題を発見し、他者と協働して解決に取り組み、新たな価値を創造する力を身につけること。国際化に対して、イノベーションを創り出し、多様な文化や価値観を受容し共生で

きる人材や、国際的に活躍できる人材を育成すること。人口減少社会に対応するためには、社会に積極的に参画する意識を高め、社会を支えていくことが必要であるとしています。

そのため、教員の養成段階では、主体的・協働的に学ぶ授業を展開する力、各教科横断的な視野で指導できる力、学校段階間の円滑な移行を実現できる力など新しい指導力を養成することを求めています。また、各学校等での研修に関しては、研修機会の確保や研修成果の可視化が必要だとしています。

これからの時代を担う子どもたちを育てるために、まずもって子どもたちの指導に当たる教員自身が、これからの時代にふさわしい資質能力を身につけることを求めています。

コラム

ものの見方・考え方とは何か(9)

公平性(バランス感覚)

一方だけに偏らないよう、また私情を差し挟んだりせずに、公平にもものを見たり考えたりすることは、社会生活を送るうえでも大切です。

ともすると、自分とかかわりが深いこと、利害や好みが一致していることにはバイアスをかけて見がちです。これが偏見や先入観に結びつくことがあります。偏見とは、偏った見解や公正でない意見のことで、対象を正確に理解しとらえる見方や考え方は無縁なものです。人に対しては、偏見をもった言動がもとで、相手の心を傷つけてしまうこともあります。

事象や人々を優劣や善悪、上下といった縦軸の基準で見たり考えたりすると、公平性を欠くことがあります。依怙(えこひいき)員という言葉があります。これ

は一方に好みや偏って公平でないことをいいます。特定の人やものを単に鼻屑(びせつ)するともいいます。なお、「鼻屑」には後援する、応援するという意味もあり、「ご鼻屑のお客さま」という表現もあるように、好意的な表現として用いられるケースもあります。

公平であるかどうかは、どうしてそう言えるのか。何を根拠にしているのかを分かりやすく、納得できる説明ができるかどうかにかかっています。

私たちの周囲にはさまざまな二項対立的な事象がみられます。AかBかの二者択一ではなく、それぞれのよさや優れたところを認めるバランス感覚が求められます。これは対立の思考ではなく、共生の視点です。このことは、AとBから新たな見方や考え方を生み出すことでもあり、創造的な営みだといえます。

INFORMATION

てのひら文庫

文部科学省後援

「てのひら文庫賞」読書感想文
全国コンクール 作品募集中!

子どもたちの小さなてのひらに載せられ、あたためられ、随所に持ち運ばれ、そして、くい入るように読破してもらいたい。

—そんな願いがこめられた読書教材です。

- 総監修
児童文学作家 石森延男
- A5判 16~28ページ
- 4色・1色
- 1~6年 各12冊
- 学校納入定価 1冊160円(税込)



「教育の小怪」の全てのバックナンバーをインターネットでお読みいただけます!

ダウンロードして印刷も可能です。お知り合いの先生にもぜひお勧めください。
<http://www.bunkei.co.jp/komicchi.html>
または「ぶんけい 教育の小怪」で検索。



企画・編集：ぶんけい教育研究所
発行：株式会社文溪堂
発行日：2015年7月1日